母校登山部 全国制覇

母校登山部は、七月二十八日～八月二十日に大分、福岡県など九州北部四県で行われた全国高校総合体育大会の、登山競技団体男子の部において見事初優勝の栄冠を勝ち取り、全国制覇を成し遂げました。

振り返ると今年の「優勝」は、昨年同大会で三位となり、今年こそはと燃やした闘志と、厳しい冬季の鍛練で培った団結力で得た成果です。

同部は、細木祐吾監督、井川貴裕主将以下部員十七名、創部五十二年の歴史の中で、ついに悲願を達成することができました。この偉業を顕彰するため、母校創立九十周年の記念事業として本工業会が寄贈しました新「栄光の碑」に、登山部の全国高校総体優勝と、メンバー、監督の名前が刻まれたプレートを埋め込みました。

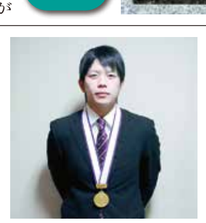
登山部優勝祝賀会開催

高校総体優勝の祝賀会が十二月七日（土）、本工業会・登山部OB会により、下松工業会館で開催されました。祝賀会には、現役登山部員十二名、登山部OB十六名、母校関係者五名、工業会関係者十一名、合計四十四名が参加して盛大な祝賀会となりました。

村中校長、河村会長の挨拶のあと、OBの高橋義宏氏（M54）からも祝辞を頂きました。細木監督の、パワーポイントを使用した大会報告では、競技内容、配点・獲得点数、評価項目の体力、歩行、装備、設営撤去、炊事、天気図、自然観察、救急等の学科テストや、マナー項目でも審査されたとの説明がありました。

工業会からは、記念品としてゼッケン十セットを贈呈の後、出場選手四名の挨拶があり、祝勝エール、校歌斉唱で、来年次の健闘を祈念しました。

快挙 技能五輪金メダル



中央職業能力開発協会主催の第五十一回技能五輪全国大会が、静岡・千葉を会場に開催されました。同大会は、二十三才以下の一、二十七名が参加して、十一月十六日～二十五日の期間、各種技能競技が繰広げられました。

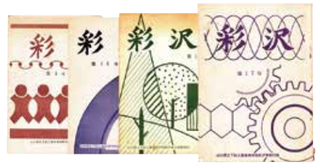
本会会員で、平成二十三年、システム機械科卒の田上祐平氏（㈱日立製作所笠戸事業所勤務）が、電気溶接の部で見事金賞を獲得されました。

同氏は、ものづくり山口県の代表として又、技能立国日本を背負う人材として、更なる技能向上が期待されています。今後のご活躍を祈念いたします。

寮誌「彩沢」提供される

今は懐かしい学校寄宿舎「彩沢寮」では、彩沢寮文化部が毎年寮誌を編集発行していました。

この第十四号（昭和三十五年三月）第十五号（昭和四十年二月）第十六号（昭和四十一年二月）第十七号（昭和四十二年二月）の四年分が当会に提供されました。



拝見しますと、恩師の寄稿文「寮の水」では物理的な配管計算、エネルギー計算、水質の化学処理まで記載されており、学術誌の様な内容に編集委員のレベルが窺われ、感心させられました。

この他にも、寮生活がかいま見られる文章、人生への希望、随想等、学生生活の一端が生々しく又、鮮やかに載せられており、興味深く読ませて頂きました。

次号では、「彩沢」誌の一端を紹介したいと考えておりますので、各種情報を提供下さるようお願い致します。

一泊交流会開催される

平成二十五年度の地域支部間交流会が活発に

晩秋の十一月二十二日、下松支部・光支部・周南支部・熊毛支部・岩国支部・防府支部・広島支部・本部役員の総勢二十三名が参加して、下松市の景勝地、笠戸島の国民宿舎「大城」で一泊交流会が開催されました。

当初この交流会は、周南地区で支部間の親睦を図るため、合同での懇親旅行を計画してはとの意見があり、検討の結果まず第一段階は交流会からということで、実施されました。

当日の懇親会では、通学時のエピソードやオリエンテーションでのスタンド集合等、懐かしい話題も飛び出し、和気藹藹の雰囲気でした。

散会後は宿泊室での懇親タイムに移行しましたが、中には遅くまで盛り上った部屋もあったようでした。

次回は是非温泉地で「湯つたりと」学生時代に還ってみたいとの意見もあり、今後の活発な交流が期待されます。

参加者は次の通りです。

会長　河村　正浩　C39
副会長　早川　昭男　C38
〃　内山　和美　E49
専務理事　槌尾　博之　M35
理事　栗田　一郎　C40
理事　藤田　文明　C39
理事　岩村　修　M44
理事　佃　俊之　C41
理事　国弘　成文　C42
監事　蔵田　幸男　M44
監事　山本　一夫　T41
光支部　林　洋司　M30
光支部　山本　和男　M36
下松支部　植中新太郎　C39
下松支部　白井　春好　M41
熊毛支部　阿川　通生　M30
熊毛支部　山本　哲夫　M31
周南支部　岸村　勇　C44
周南支部　沖本　敬士　C41
岩国支部　中谷　俊勝　M39
岩国支部　西方　栄治　M42
広島支部　村井　俊夫　M36
防府支部　以上　二十三名

母校百周年に向けて

平成三十三年には、母校創立百周年を迎えることとなります。百周年を迎えるにあたり、一世紀の区切りの意味で記念事業が必要と考えています。

記念事業の具体的な内容は、今後委員会又は、プロジェクトを設置して検討しいく予定です。

参考までに、九十周年時実施した内容を列記します。

一、九十周年祝賀会
平成二十三年十一月十八日
周南市　ザ・グラマシーにて開催
出席者　百九十四名

一、記念講演会
平成二十四年三月二十七日
下松市　スターピアくだまつにて開催
演題「宇宙飛行士訓練～壁にぶつかった時」
講師　JAXA（宇宙航空研究機構）
金井宣茂宇宙飛行士
聴講者　約五百名

一、栄光の碑の増設
（追加事業）
平成二十五年六月十一日　除幕式実施
母校への記念事業
吹奏楽の楽器購入　一式
図書購入　一式
グランド整備一部
一、下松工業会館改修
外壁塗装
玄関改修
トイレ改修（一部分）
内壁改修（一部分）
一、記念ゴルフ大会開催
平成二十三年十一月二十五日
中須ゴルフ倶楽部
参加者　七十五名

以上の事業を実施しました。事業費用については、次の通りです。

募金目標額　八百万円
募金額　八百八十三万円

百周年記念事業では、九十周年と違い節目になりますので、母校一世紀の軌跡を記録した「記念誌」の発行が考えられます。

この他の記念事業については、今後いろいろなご意見を頂きながら、対応して参ります。

これら記念事業の実施につきましては、事業資金が必要となります。

現時点での事業資金募集計画は、八年間で会員一人あたり一万円、最終募金総額は千六百万円を目標にしいます。募金を一度にお願いすることは、大変厳しいことは承知しておりますので、数年にわたり少しずつ提供いただく積立方式で、対応頂ければと考えております。この「積立方式」は、既に平成二十五年度から実施しておりますので、ご協力下さいますよう改めてお願い致します。

現在約一万六千人の同窓生がおられますが、この内下松工業会会員は約千六百名です。これは社団法人制度の変革により、会費納入をもって会員とするよう、行政官庁の指導により、定款が変更されたためです。

当工業会では、未会員同窓生の皆様が一名でも多く、入会され、会費を納入下さるよう、あらゆる機会を通じてお願いしております。

今後とも、同窓生、会員各位のご理解・ご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

クラス会情報

母校への愛着

C26　幹事　松村祥一郎

平成二十五年十月三十日（金）下松市「池田屋」において同窓会を開催しましたが、何分母校を卒業後六十二年目の同窓会なので、三十九人に開催案内をしましたが、十二人の出席となりました。しかし、お互い八十歳を超え残る人生も僅かな中、終始和やかに旧交を暖めあい、楽しいひと時を過ごすことができました。

今回は、日頃からお世話になっている工業会事務局の槌尾様にご臨席頂き、開催させていただきました。

私ども同級生は、人生の若き良い時代を共に歩み、共に生き　爾来六十有余年人生を共有することができた得難い友であり、これはそれぞれの大切な財産です。

これからも、「同窓生万歳折あらば再会しよう」を合言葉に散会しました。

私たちは昭和二十年終戦の年に下松工業（旧制）に入学したものが多く、六三三制施行に伴い新制中学（併設中学校）に移行され、その後新制高校の下松工業高等学校に、引き続き入学して卒業したもので、都合六年間下松工業にお世話になった者たちです。

従って、私たちはこの母校に人一倍愛着が強く、また強い誇りを持っております。

私たち一同は、今後とも母校下松工業が末永く存続し、誇りある存在を維持発展されることを、心から願っております。

C26

尚、我々は平成二十三年の「下松工業創立九十周年」時に、下松工業高校卒業六十周年記念同窓会として、二十人の出席を得てクラス会を開催しましたことを、併せてお伝えしておきます。

戦中の思い出

平成二十五年十月九日
M23　同窓会
場所　下松市　升吉
幹事　兼平敦登

昭和十八年入学　昭和二十年終戦、三年生は学徒動員で工場で働く、入学時から竹中先生が主任教員で我々の面倒を見て頂いた、当時はボッチャン先生と呼んでいました。

昭和二十三年、六・五学年で卒業（中学校時代）

昭和二十四年、六・三・三制で初めてI期の高校卒業生であり、終戦後の就職で皆苦労しました。終戦と同時に学校をやめた人もあり、遠い所では韓国から来た人や、見島から来た人もいました。

二十才での逝去者　二名
四十才　一名
五十才　一名
六十才　六名
七十才　六名
八十才　六名

当日の十月九日は台風が来そうでしたが、皆の考えで同窓会を実施、強い意志の力で台風を追い払い、良い天気に恵まれました。

生存者二十八名中元気な人は十名、竹中先生を含めて参加者十一名で愉しい同窓会でした。

竹中先生（九十二才）から「諸君は私にとって一番の思い出のクラスですから、体の続く限り出席します」と言って頂き感激でした。

同窓会を始めた平成三年から今年で十六回を数えますが、いつも昔話に花が咲き盛り上がります。

残り少ない人生の思い出になりますので、これからもできるだけ毎年実施したいと思っています。

M23

M33 2組クラス会

平成二十五年九月二十六日
場所　周防大島「大観荘」
参加者　十一名

ここ数年、二年毎に開催しており、卒業以来十回となりました。

万年幹事を地元五名で引受けており、今回は久々に一泊して「十五の春」にタイムスリップし、思い出話に花が咲き賑やかな会となりました。

次回の日程（平成二十七年ごろ）を決めて、健康での再会を約して、散会致しました。

電気科41年卒同窓会

平成二十年四月二十七日
場所　ザ・グラマシー
幹事　岸村敬士

七十六名中（住所不明十一名、故人一名）二十二名の参加です。

十三年振りに開催しました。中には、卒業以来の仲間もおりました。幹事として名前と顔（但し卒業アルバムより）はインプットしていましたが、どうしても顔と名前が一致しない人もありました。しかし二～三時間一緒にいると、不思議に昔の学生時代に戻ってしまうのが、「仲間」のなせるわざというものでしょう。

卒業時、県内は不景気で就職先が少なく、大半が県外へ出て行きました。現在でも、県外在住者が二十五～六名おられます。今回も福島県や東京の方も駆けつけて頂き、本当にうれしく思っています。

関東地区だけでも、十名程度は住んでおられるので、次回は東京での開催を計画したいものです。

最後に、わずか三年間の学生時代でしたが、仲間というのは本当に凄いものだと感心しました。心から楽しかった。みんなありがとう・また会おう。

M33

S47年卒 還暦同窓会

平成二十五年八月十四日
幹事　石井道明

早いもので三度目の成人式を迎えて、下松の「料亭はらだ」へ三十八名が集合しました。

合同同窓会は、今回で二回目五年ぶりの再会です。

会は山本君の挨拶に始り、有森君による名司会のもと、村中校長先生の挨拶のあと、懇親の席は高校時代の話などで大盛り上がりになりました。その後ギターの生演奏とハーモニカに熱狂し、ビンゴゲーム、校歌斉唱と二時間三十分が、瞬く間に過ぎ、同窓会は盛況裡に終わることができました。

次回は、三年後のオリンピック開催年に開く予定です。みんな全員集合です!!

一緒に楽しく美味しいお酒を飲みましょう!!

E41

E47

M36 同期会報告

平成二十五年六月十日
場所　下松市「大城」
幹事　山本和男

今回の同期会の参加者は総勢二十四名で、内ゴルフ参加者は十一名。（中須ゴルフ倶楽部でプレー）

翌日の十一日には、母校を訪問し見学させて頂きました。

最初に、村中校長先生より学校の状況説明をお聞きして、その後実習室等を見学し大変有意義な時間を過ごしました。

同期会はいつも地元で開催していますので、次回は関東地区での開催を考えています。

M36

その他のクラス会開催状況

平成二十五年　一月～十二月

M34　五月十八日
十名
下松工業会館
幹事　黒田義則
廣永龍男
M27　九月二十七日
十二名
きらぼし館
幹事　弘実法造
C40　十月十三日
十五名
下松工業会館
幹事　井上則男

C39　十一月四日
二十六名
下松工業会館
幹事　藤田文明
C34　十一月六日
二十名
雙津峡温泉・錦パレス
幹事　大田　奥村　高村
矢野

地域支部紹介

現在支部は、地域懇談会の呼称を使用しています、本欄では支部の名称を準用します。

柳井支部
支部長　藤沢　宏司（E56）
事務局　原田　浩治（E57）
開催日　二月二十三日
出席者　四十名
場所　柳井市ベルゼ

下松支部
支部長　植中新太郎（C39）
副支部長　藤田　文明（C39）
事務局　槌尾　博之（M35）
開催日　六月二十一日
出席者　三十一名
場所　下松工業会館

熊毛支部
支部長　林　通生（M32）
事務局　阿川　勇（C31）
開催日　六月二十九日
参加者　十五名
場所　勝間ふれあいセンター

光支部
支部長　林　洋司（M30）
事務局　山本　和男（M36）
開催日　七月六日
参加者　四十三名
場所　光市　松原屋

周南支部
支部長　山本　哲夫（C44）
副支部長　和田　和年（E39）
同　柳　知明（E44）
事務局　松村　昌幸（E56）
開催日　九月二十八日
出席者　三十一名
場所　ザ・グラマシー

広島支部
支部長　江村克己（M34）
事務局　西方栄治（E43）
開催日　十月二十五日
出席者　八名
場所　広島市ひろ里

東京支部
支部長　岡野　傳司（C40）
事務局　藤井　和良（M45）
開催日　十一月二十四日
出席者　二十七名
新支部長　土谷　康夫（M42）
場所　霞が関ビル
東海大学校友会館

周防大島支部
支部長　川端　修（M27）
事務局　山本　敏博（M33）
村岡　教治（C38）
開催日　十一月三十日
出席者　十三名
場所　柳井市ベルゼ

岩国支部
支部長　沖本　勝（M39）
副支部長　中谷　敏豊（M42）
開催日　十二月七日
出席者　二十三名
場所　岩国市開花亭

光支部

光支部